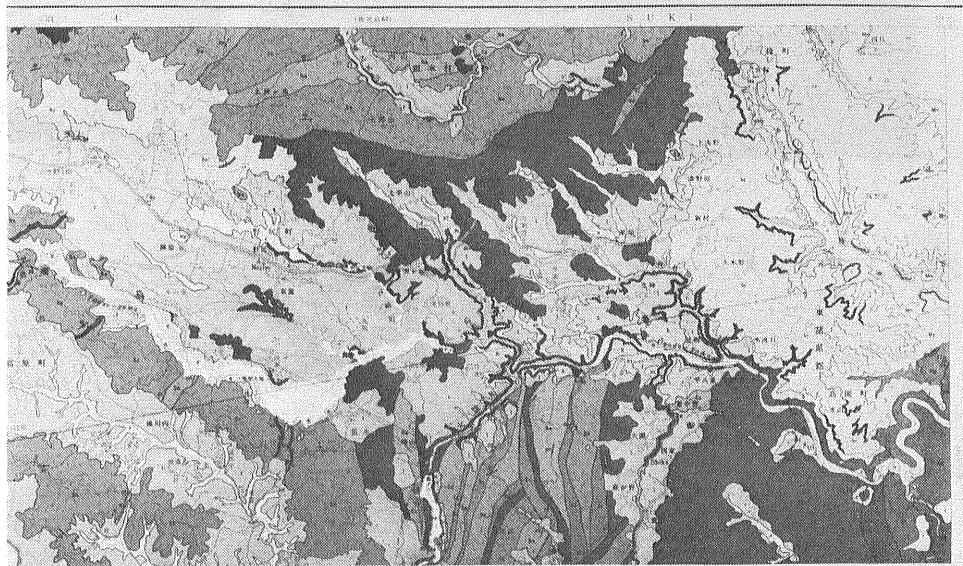


野 尻 NOJIRI



5万分の1地質図幅の新刊

野 尻 NOJIRI

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著 者 木野義人・太田良平
発 行 工業技術院地質調査所 (1976. 3)
取 扱 先 地学文献センター (0423) 62-5050

・大方の人には馴染みの少ない地名かも知れないが 南九州霧島火山の東麓に位置し 既刊の地質図幅「霧島山」と表層地質図「宮崎」とに挟まれた地域である。平坦面が発達している割合には 未だ自然が残されている純農山村地帯であるが 近年はこの地域を通過する国道が整備され 宮崎—都城—鹿兒島の幹線や 宮崎—霧島観光ルートの沿線となっているので これらのルートによってこの地域を通った人も案外多いのではなかろうか。 また最近では九州縦貫道路の加久藤—宮崎線の建設工事が この地域を横切る国鉄吉都線沿いに急ピッチで進められており 本邦におけるハイウェイ建設史上初のシラス対策に直面している。

・この地域は四万十累層群山地とシラス台地によって特徴づけられ 霧島火山をはじめ始良カルデラや加久藤カルデラなどに関連する各種の火山噴出物が彩りを添えている。 これらの火山噴出物層序を観察するには 恰好のフィールドと言えよう。 また地体構造の上からは 西南日本外帯構造の本州弧から琉球弧への屈曲ゾーンに当り 宮崎平野から加久藤盆地に至る断裂帯がこの地域を横切っている。

・気候風土に恵まれたこの地域が 平坦地の多い割合に純農山村地帯として残されていることは 将来の人口増と食糧その他生産物の国内需給態勢を考えた場合 この地域に社会・経済面からの開発行為が加えられる余地がより多く残されていることを意味する。 現に道路の拡張や山地の開発に伴って シラス災害などが新たに発生しつつあり 緑被の喪失による地質現象としての鋭敏な反応が見られる。 自然条件の現状と将来にわたる 真の意味の環境評価が要請される地域でもある。

地質ニュース	第265号	9月号
	定価 ¥ 380	〒 50
昭和51年9月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (265) 0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
	東京都港区赤坂裏町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	